京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金…
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
發行所 京城新報社
京城西署西小門通（電話六六三）

日露鐵道會議

東京電報 東京に於て開會中なる日露貨物連絡會議は漸次に進捗し、南滿、東清兩鐵道間の運送規則に付きては既に交渉纏りたるを以て日本內地の鐵道と南滿、東清兩鐵道との交渉に移り、大體決定の上木下委員より鐵道院の裁定を仰ぎ來られ鐵道院は此裁定の結果を返電したり、尚今後交渉すべき事項は貨車規則及び計算規則にして內貨車に就ては目下南滿、東淸兩鐵間に交渉中なれば不日日本側との交渉に移るべく、又會計は一般經濟に關係する所多きを以て其決定までには尚は多少の時日を要す可し而して右兩規則に付ての交渉終了せば一旦會議を閉ぢ來春更に露國側との交渉を開始するに至るべしと云ふ

露國蒙古の貿易

露國新聞、報道に依るに露國政府は蒙古の形勢に鑑み大に蒙古貿易擴張に就て畫策する所あり先づ蒙古國境に對する新計畫の鐵道線と連關して交通道路を修理し水路の航通を開き露國電信線を支那電信線と連絡し蒙古に通せる道路の各驛に倉庫を建築し獸醫の監視を簡便にし國境の消毒所を改良し稅關の儀式を少くし蒙古往復旅劵交付手續を簡易にする等にて同國商工務省專ら之が實業の任に當り居れりと云ふ

鐵道通信の兩局

鐵道は從來の如く鐵道院の管轄を離れて朝鮮總督の管轄に屬し總督府鐵道局と稱し長官技監一人（勅任）參事六人副參事四人參事補九人技師三十八人（內二人は勅任）通譯官一人は何れも奏任とし書記技手を通じて四百九人と定め本令施行の際朝鮮鐵道管理局に在勤する技監參事副參事參事補技師通譯書記技手は別に辭令を交付せず各同官俸給を以て任せられたるものとせり又通信管理局は通信局と名稱を改め航路標識管理所觀測所郵便爲替貯金管理所郵便局及び郵便所等を通信官署に包含し其職員は通信局長官一名勅任書記官二人事務官八名事務官補十八人技師十五人何れも奏任とし書記技手書記補航路標識看守郵便所長專任七百四十五名の判任官を以てし航路標識管理所長及び觀測所長は通信事務官として之れに充てし郵便局長は通信事務官及び事務官補又は通信書記とし觀測所長は通信技師となす本令施行の際に於ける現官者は各同官等俸給を以て任せられたること鐵道と同じ

園藝品評會彙報

▲受賞者數　出品點數四千に對する審査漸く終了せしが受賞者は九百餘名に達し夫々出品物に等級を貼付し係員は賞狀の執筆に着手せり

▲紀念繪葉書　三十日より門內左側のテント內にて日韓印刷合資會社より美麗なる紀念繪葉書を發賣せるが一組十錢なり

▲無料觀覽券　朝鮮農會員に限り動物園、植物園、博物館、慶福宮、ハコダ公園、京城植物園、龍山農園等の無料觀覽券を本會より配付せり

▲入場者　廿九日の入場者は五千四百名にして本日は水原模範農場四十七名、同德女子義塾六十名、支那華商學校二十一名、校洞普通學校百二十名等の團體觀覽者あり普通參觀者は正午迄に千七百名に達したり

▲龍山農園苗木　龍山農園に於ては果樹苗一等賞を得たるが葡萄、桃、梨、苹果等の苗木を移植し參觀者の參考に供し居り

▲會員募集　追々褒賞授與式も近づきたれば各地方よりの會員及び出品人續々入京し會場は益々賑はしくなれり

●罰則に關する命令權

警務總長及警務部長は其發する命令に三箇月以下の懲役若くは禁錮拘留百圓以下の罰金又は科料の罰則を附する事を得又各道警務部長は其發する命令に拘留又は科料の罰則を附する事を得と總令第二百七十六號を以て規定されたり

●裁判所と監獄定員

裁判所及檢事局の定員は判事二百六十一人檢事六十三人書記長四人通譯官四人書記通譯生を通じ四百二十九人にして監獄は典獄八人看守長通譯六十一人なり而して裁判所監獄は何れも本令施行の際の在官者は其各官等俸給を以て任命せられたり

講談　大岡政談　越後傳吉　第八十八回

旭堂南陵講

越「ア、左樣か、それも亦上の御威光を以て調べさすぞ、思へば氣の毒な儀、明日は傳吉も緩々と突合した上吟味をいたす左樣心得い、今日は退れ　兩「ハイ有難き仕合せにございます」その日は庄左衛門早の兩名を退げられた、二人が戻つて來るとヤレ〳〵と思つた、イヤもうお白洲へ初めて出た時にはビツショリと冷汗を流した　早「ねへ旦那どん　庄「お早　早「高田の郡奉行所と違ふて江戸の奉行所はエライ怖いところぢやな　庄「ア、私等ア慄然とした、いひ損なふてはならぬと思ふて乃公ア一生懸命ぢやつたぞ　早「妾だつてさうだよ、成ほど矢ツ張り拾兩の願書は價値があるのう、餘ほど旨いこと書てくれたものと見ねて、お奉行さんが私等の方のいふことをお採用になつたやうぢやのう　庄「さう〳〵、金は使ふて見ねばならぬものぢや、大分今日の工合では都合が宜いのうお早　早「さうだよ」二人が都合が宜いと悦んで居る、越前殿の胸中はてさて翌日に相成ると今日は殘らず御呼出しサア突合しての御吟味といふことになる、庄左衛門、早、村役人、甚右衛門に三右衛門、傳吉、中村屋與兵衛、お仙、黑崎伴右衛門に至るまで一同が打揃つてお白洲へ罷り出る、尤も郡奉行の黑崎伴右衛門だけは戶田能登守の家來でもありこの一條調査役の一人でもあるから緣側に坐つたが、その他は皆お白洲に控へる、傳吉は牢問拷問に遭つたから牢に居る時は病人のやうな有樣であつたが、その後何程かのお手當をして頂いたから聊か勇氣が附たものゝまだ〳〵例して元の身體ぢやない今日とてもお白洲へは歩いて出られぬ、腰は拔け龍手以ね漸う其所へ茫然と坐つてゐるばかり、片傍にゐた中村屋與兵衛とお仙の二人、傳吉の姿を見たばつかりで胸一杯になつて差俯向いた甚右衛門三右衛門においてもその通り、只だ潸々としてゐるのは庄左衛門とお早ばかり、越前守聊か座とれ遊ぶに相なり　越「寶田村百姓庄左衛門早……　庄「ハイ　早「ハイ　越「松崎の宿中村屋與兵衛　與「ハイ　越「娘仙　仙「ハイ　越「寶田村々役人甚右衛門、三右衛門　甚「へ　三「ハイ　越「寶田村名主傳吉　傳「ハイ　越「一同揃つたのう　一同「ハッ　越「庄左衛門　庄「ハッ　越「目安方願出の願面を讀上げる　庄「ハッ」目安方その時に庄左衛門が願ひ出した例の十兩掛つた願書、女郎買と寝恍眼で書いたもの、能く分るやうに間違ひはないやうに豫防に書いた願狀

戶田能登守樣御領分越後國頸城郡寶田村百姓庄左衛門恐れながら右書付を以て申上げ奉り候、傳吉私先祖より親類の好み御座候處然るに傳吉代に相成り名主役退役仰附けられ身代立行き難く江戸表へ奉公いたす趣むきを申置き逐電仕り候其不在中伯母お早妻お梅必死困難の場合に陷り候故憫然と存じ兩人共私宅へ引取り世話いたし置き候處五箇年振にて立戾り其節松崎の宿中村屋與兵衛方よりお仙と申す者を連歸り先妻の梅は邪魔者に相成り候に付私悴庄藏と不義密通有之など〳〵難題を申掛け非道理にも追出し候故又々引取り世話いたし置いたるところ村中勸めに依り拵庄藏と梅と夫婦にいたし候を無念に心得庄藏と梅の兩人宮戸村へ參り候途中泉磧に待受け殺害に及び候始末國許お奉行所に於てお調べを蒙むり御吟味落着仕り候然るに又々御尋ねに依つて御返答申上げ奉り候以上

右　庄左衛門
　　早

南奉行所樣

殘らず讀上げました、越前守お聽取りに相成りますと、直ぐに　越「寶田村名主傳吉」傳吉は餘り手酷い拷問に掛つた故か些と耳が遠くなつたものと見ねて傳吉はポンヤリと頭を下げて居る、堪り兼ねましたお仙が　仙「旦那どん、旦那どん、お奉行樣のお言ぞ、旦那どん」背後よりいたした。

東京電報

▲芝離宮の管絃樂

皇后陛下には來る二日午後一時御出門芝離宮に行啓管絃樂の御催ある由にて當日陪觀の榮を賜はるは東久世伯、鍋島公夫人、大原伯、菊池、藤井、大宮、金子の各子爵及び大原從五位等なりと（一日）

▲練習艦隊の航程

海軍少尉候補生を搭乘して遠洋航海の途に上るべき練習艦隊の航程は下の如し十月十六日橫須賀發十一月二日ホノルヽ着同八日同港發十九日桑港着二十三日サントペトロ着十二月一日サンモンサチル着同十一日アカポロコ着十七日サイナグレーツ着二十四日巴奈馬着四十四年一月五日アカプルコ着十七日ホノルヽ着同二月二十九日橫須賀歸着の豫定なりと（同上）

▲宮內大官の會議

昨日午後一時より渡邊宮相、香川皇后大夫、戶田式部官、河村宮內次官、伊藤式部次官、長崎式部官、岩倉掌典長其他重なる宮內官宮內省會議室に參集宮內省官制に就き協議を爲たり（同上）

▲廣島市長の新任

廣島市長渡邊大爾氏退職後任候補者として長屋讓二氏市長就任の御裁可を經たり

▲地方債と發行額

曩に內務省より大藏省に廻附したる低利に地方債借換及び新事業資金融通の查定額中大藏省の同意を經たるが其債券發行額は百萬圓に達すべしと（同上）

▲鮮人司法官退職

統監府判事鄭寅興同李址英同洪由楓同韓東履同楊孝健同李定禹同檢事洪昌英は三十日何れも依願本官を免ぜらる（同上）

伯林電報

▲漁船に無線電信

北獨逸クツクスホーヘンに於ては蒸汽汽罐を有するトロール型漁船三隻に無線電信を裝置したるが其結果良好なるより他船も之れに準へ使用せんとする傾向を生ぜりと（一日）

▲獨議會の開會期

獨逸帝國議會は十一月十五日開院式を擧行する筈なりと（同上）

▲葡王の伯林訪問

葡萄牙王マニエル陛下は十一月中旬を以て伯林を訪問せらるべしと（同上）

▲獨逸宰相の訪墺

獨國宰相は維也納に於て墺國外務大臣と會見墺國外債募集の件に關し協議せり右は獨逸に於て引受くる事となりたるも万一不調となる時は英のサーカッセル氏獨逸の援助を得て條件に應ずべしと（同上）

官報

總督以下の任命

一日總督府官制實施と共に一日總督府總督以下左の如く任命されたり但し主計局長のみは未定

陸軍大臣陸軍大將 子爵 寺內正毅
兼任朝鮮總督
任朝鮮總督府政務總監 山縣伊三郎
任總督府總務部長官 有吉忠一
任同上外事局長 小松綠
任同上人事局長 國分象太郎
任同上會計局長 伯爵 兒玉秀雄
任同上農商工部長官 木內重四郎
任殖產局長 菊地武一
任商工局長 工藤英一
任度支部長官 荒井賢太郎
任司稅局長 鈴木穆
任內務部長官 宇佐美勝夫
任學務局長 關屋貞三郎
任地方局長 小原新三
任司法部長官 法學博士 倉富勇三郎
任民事課長 松寺竹雄
任刑事課長 安住時太郎
任庶務課長 山邊勇輔

道長官の任命

道長官は左の如く任命されたり

休職知事 香川輝
同 松永武吉
同 檜垣直右
前大邱財務監督局長 川上常郎
前大邱理事官 能勢辰五郎

因に邦人道長官は前記の五名にして他は當分朝鮮人を以て之れに充つる由尚松永武吉氏は平安南道長官なりと

府尹任命と發表

各府尹は左の如く任命されたり

京城府尹 未定
平壤府尹 秋本豐之進
釜山府尹 若松兎三郎
仁川府尹 久水三郎
鎭南浦府尹 本田常吉
大邱府尹 竹崎六三郎
元山府尹 村地卓爾
淸津府尹 楠野（不明）
新義州府尹 深山傳次郎
群山府尹 天野喜之助
木浦府尹 橋本豐太郎
馬山府尹 三增久米吉

道長官と警察權

警察機關は依然特立制度たるも警察官官制改正の結果其第八條に警務部長は道長官の命に依り道行政の執行を助け又は地方警察事務に關し道長官の命令を承け必要なる命令を發し又は處分を爲すべし云々の一項を追加し更に其第五條第二項に道長官は道行政の執行に關し管內の警察官を使用する事を得と特とし又第三項に道長官は地方警察事務に關し道警務部長をして必要なる命令を發せしめ又は之に對し必要なる處分を命ずる事を得と定め以て警察特立の爲めに釀出し易き弊根の救濟を計りたり新官制の精神は之に依りて彼是兩者[illegible]を企てたるものなるべし

總督府の第一日

朝鮮總督府官制發布され統監府は改めて總督府となりたるが各部の異同官吏の交迭の爲め府員一同の混雜は非常にして尠くとも數日間は此の狀態を持續すべき模樣なり

寺內總督上京期

寺內總督は本月十日頃出發歸京さるべき豫定なりと聞きしが新官制も愈々三十日發布せられたるを以て之が施行の經過を親しく監督するの必要あり且つ新官制に關する四十四年度豫算編成は殊に緊要の事に屬するを以て直接當局を督勵し親裁すべく而已ならず來る二十七帝國議會は併合に伴ふ幾多重要問題伏在し隨つて國務大臣としての同總督の責任は一層重大なる次第なれば尙ほ暫らく滯在せらるべく旁々出發の日取は十七八日延期し多分本月末ならんと云へり

山縣總監の歸京

既報の如く東上中なりし山縣政務總監は夫人及び令孃を伴ひ一日午後八時十分南大門着列車にて歸京せらる

●憲兵と江原道方面

此頃江原道方面の視察を遂げ歸來せる某朝鮮人大官の談によれば從來同道管內は最も暴徒の猖獗を極めたる地方として知られ良民は之が爲めに苟くも高枕安眠し難かりしが警察機關統一後該地方は警察官を廢して憲兵を以て警備任務に當らしめたるに如何に山間僻陬の地と雖も注意周到し昨今にては殆んど暴徒の兇害を根絕せしめたるより邑民皆吾憲兵の威德を謳歌し居れりと且つ邑民と憲兵との融和は頗る好現象を呈するに到れりと云ふ

●觀光團宿割の困難

近く鐵道觀光團入京に關し各自有志の準備匆々たる中にも困難なるは宿割なり併合後母國より視察若しくは觀光の爲め入京する者漸く多く爲めに各旅館は何れも滿員の姿にて新客を容るゝの餘地乏しきによるものにて當事者は一段の苦心を拂ひ居れるが是に就き萬千閣は五十名の宿泊を引受くるに至れり

●總督府の特別會計

鐵道管理局は今回鐵道院を離れて總督府所管に移り通信管理局會計も遞信省より總督府に移りたるが此等の會計及森林、平壤鑛業所並に公債金の特別會計に就ては四十三年度限り從前の例に依る事となれり

●農商工部紀念撮影

新官制發布と共に農商工部は組織に異同を來し從つて部員の退官轉任等あるを以て其部の高等官判任官を一日午前十一時本部に集め紀念寫眞の撮影を爲し前農相趙重應氏も列席し終つて木內長官より一場の訓諭ありたり

●總監部の定員減少

警務總監部官制の定員は從來警務官二人を三人に通譯官三人を八人に增員せるが警視は却て五十二人を四十四人に減せり然れども現在缺員中にありたれば之が爲に罷免者を生せずと云ふ

中樞院顧問觸顏

新官制によりて設けられたる中樞院の顧問にて前中樞院副議長李根湘同顧問宋秉畯、李夏榮、權重顯、李址鎔、李根澤、任善準、李載崑及び李允用外に前大臣李完用、趙重應、高永喜、李容植、閔丙奭及前親衞府長官李秉武等十五名なりと

大學傳道の開始

既報の如く在朝鮮の基督敎宣敎師は大擧傳道に着手し委員長にゲール氏委員にアンダーウッド、バンカー、ノーブル、シレット、シャーダイン、ミラー、ターナーの七氏を擧げ毎朝各敎會に於て祈禱を捧げ晝間は各戶を訪問して敎旨を說き毎夕敎會に集めて說敎を爲す筈なるが而して京城は十月末日引揚げ然る後部署を協議決定して地方に向ひ地方に於ける宣敎師所在地は約一週間の豫定を以て十二月中旬迄に終了する計畫なりと尙ほ本計畫に就ては始め大々的仕組みを以て之を營み大道說敎をも爲す筈なりしが不穩の傾向あるを恐れ之を中止せりと又北京上海方面の外人宣敎師及日本人側牧師等も應援に渡來すべく準備せしも是亦何故か沙汰止みとなり專ら在朝鮮宣敎師を以て之に當る事となれりと

合併後の產業振興策（十三）

辯護士 高橋章之助君談

總督府の新政は產業の振興を第一とすべきは勿論であつて、其の產業の中でも最も重要なるは第一に農業、第二に水產であらうと私は信ずる。

サテ農業なり水產なり其他の產業は總督府に於て夫々機關を設けて獎勵保護を加へらるゝことであらうが、農業に關する私の經驗に依れば、土地に適する作物を撰擇することゝ、耕作栽培の方法を改良することゝが最も必要であらうと思はれる、特に一般に認めらるゝ如く、梨、林檎、桃、葡萄等の栽培なぞは頗る見込みがある、唯忘れてはならぬことは需用供給の度を計較することゝ、貯藏、輸出の出來得べきものを撰ぶことである、夫れから大豆なども土地に適する作物であつて今では朝鮮の重なる輸出物になつて居るが、未だ餘り人の注意を喚ばざる馬鈴薯は實に好適の作物なのである、之れは年に二回の收穫を爲すことが出來、作り方が簡易で販路が廣い、其上尤も採れる、甚だ有利なる作物である、此外多くの作物があるであらうが要するに耕作法の改良と、作物の種類を撰擇することは最も必要なことであらう、次は水產業だが、新官制では水產局を縮少するやに新聞などで傳へられてゐるが私は以ての外の不所存だと思ふ、水產業は農業よりも利益を收むるに手取り早い、而かも朝鮮の沿岸には多數の島嶼が碁布されてあつて、恰好なる魚貝の蕃殖所と成つてゐる、若し取締法を設けて濫獲を防ぎ、適當なる漁獲採取の方法を用ゐしめたならば或は農業に勝るの利益を見ることも出來やう、然るに水產局の縮少說を耳にして其無分別には聊か呆れざるを得無い、尙世間から嘱目されつゝある事業の中に鑛山業があるが、之れは學者の調查研究が不足な爲めか、鑛脈の斷續勞無くして今日の處甚だ有望とは云へない、夫れから殖林に就ては兎角の意見もあるやうだが、私は甚だ必要にして且有望なる事業と信ずる、故に私は保護獎勵の法を講ずると同時に、放火、盜伐等は特に嚴重なる處罰の規定を作されんことを希望する。

敍上の總てを通じて必要なるは勞力であるが、之れは朝鮮人を用ゐるが宜しい、勞銀は安く、從順で、其の上單に勞働といふのであれば內地人の一倍半の仕事はする、故に內地人を使役するのは損だ、隨て私は內地人が家を擧て移住するのならば可し、然も無くて單身勞働の爲めに所謂出稼ぎに來るのは歡迎せぬ云々。

京城府民大懇親會

（來る九日慶會樓に於て）

豫て噂ありし日鮮民大懇親會は氣運漸く熟し來る九日鐵道觀光團來着を期し同午後二時より景福宮慶會樓に於て開催すべく一同午前京城民團漢城府民會及兩商業會議所重役會合協商の上決せられたり其名稱は京城府民大懇親會と稱し會費は一人五十錢と定め汎く會員を募集さるゝ計畫にして當局者に於ても大に是を歡迎し出來得限り便宜を圖らるゝ由なるが尙は商業會議所は是に關し一日午後四時より同役員間に協議を開き更に同七時より同樓上に於て日鮮合同委員會を開き準備萬端に關し協定さるゝ筈なり

虎疫と滊車檢疫

黃海道以西に於ける虎列拉は倍々猖獗を極め居るが九月三十日迄の累計によれば平壤五十四名載寧五名夢金浦六名甕山面二名大元洞二名の患者を出し尙は續々蔓延の兆あり故に警務總監部は極力其撲滅を計ると共に未發地の豫防警戒を嚴にして今朝京城南北兩部警署に在りて防疫上に經驗ある巡查十名及醫師を急派し應援に從事せしめたり同時に滊車檢疫を開始し平壤新幕開城黃州龍山南大門の各驛に醫師を派遣し流行地より來る乘客に注意し臨診を行ひ更に巡查一名をして其先行地をも確知せしめ其散漫を警戒し居れり尙ほ鐵道にても車掌一名を增員して警察と相待ちて遺漏なき豫防に努めつゝ有と

朝鮮煙草會社

（醜漢平渡の計畫）

目下東京に朝鮮煙草會社なる者の起らんとしつゝあることは昨本紙電報所報の如くなるが右會社設立計畫者は過日**諭旨退官**の結果當地を去りたる元內部府郡縣長**醜漢平渡**信及び前代議士と稱する松下某にして彼等は朝鮮總督府が近々煙草專賣法を施行するに付其際には營業權及工場等を莫大の價格に買付得べしと元**總務長官鶴原定吉及淺田正文**兩氏の名前を濫用し各方面に向つて遊說贊同者を求め居れり尙聞くところに因れば平渡等は在長谷川町**廣江商會**の煙草營業商標及び工場等を金**五萬圓**に買取るの內約をなし會社成立の曉には右を金**十五萬圓**に買付けんと企み居る由なり

園藝品評會の成績

園藝品評會の審查は去る廿九日を以て全部を終了し三十日より其成績を發表し一般の展覽に供したるが全部の出品點數は果實六百九十七點蔬菜一千四百七十九點苗木種子二百八點參考品一四三二點にて總計三千八百十六點に達し外に遲着せしもの等を合すれば實に四千四百餘に上れりと右總出品中より一、二、三、四等の賞に與るべきものと見做されたるもの一等三十三點二等七十二點三等百三十四點四等四百四十二點にて總計六百八十一點なるが一等賞選者氏名及び品目を擧ぐれば左の如し

▲白米 三輪信一（京城）永田岩吉（鎭南浦柳川里）
▲南瓜 趙鎭干（平南祥原郡紅石面）
▲縮緬南瓜 東拓灘島出張所
▲南瓜 柳寅弼（忠南天安郡下里面）
▲茄 久納淺太郎（太田）佐々木榮太郎（龍山）
▲甘藍 栗本乙彌（元山）仲村森吉（平壤）
▲牛蒡 外園丈四郎（新義州）庄都良平（新義州）
▲蕪 阪本金八（龍山）堀倉淸吉（同）
▲梨 林田靜吉（三浪津）佐々正之（京城）馬淵熊太郎（榮山浦）
▲林檎 米人スワーレン（平壤）濱田傳吉（富平郡案砂）佐々正之（京城）
▲葡萄 古賀彌次（開城）
▲里芋 西川太三郎（群山）
▲[illegible] 橋本三五郎（新義州）後藤喜平（同上）
▲甘藷 荒萬榮（慶南晉州郡在晉面）金鑽宅（同上大安面）
▲馬鈴薯 淸水重治（大邱）渡部敏（同上）鳥致院興農園
▲葱頭 遠山甚藏（全州）

斯等一等賞としては金杯一個宛を下賜する筈なるが褒賞授與式は豫報の如く二日午後二時より會場後庭に於て擧行さるゝ由にして當日は山縣政務總監臨場し直接受賞者に對して夫れ〳〵褒賞を授與し菊地殖產局長以下臨席し授與式と同時に品評會の閉會式を行ひ式後前庭にて盛なる園遊會を爲すべしと

●新設牛皮會社狀況

近く南大門通に設立されし合名牛皮會社は純然たる朝鮮有力家の組織にして合名會社の公認は同社を以て嚆矢とす山口太兵衞氏は有力なる顧問として指導萬端に當り斯業に老熟なる北川吉三郎氏營業を監理す當初は牛皮扱を專らとするも尙追々畜產方面にも手を擴んとなり

●岩佐東拓理事東上

東洋拓殖會社金融部長岩佐理藏氏は今回社用を帶び一日午前九時十分南大門發車にて東上の途に就けり

●仁川商會定期總會

仁川日本人商業會議所定期總會は四日午後七時開會の筈の處靑木會頭未だ歸仁せざるにより六日に延期したりと

●新中樞院書記官長

中樞院書記官長は一日國分人事局長兼任を命ぜられたり

●關貴族院議員入京

貴族院議員關子爵は一日午前八時廿分新義州發列車にて入京せり

●吉橋部長の出發

前度支部書記官より公州財務部長に轉補されたる吉松憲郎氏は三十日出發赴任の途に就きしが兩三日中家族引纏の爲歸京すべし

●落合芳藏氏歸鄕

前度支部會計檢查局書記官落合芳藏氏は二日歸鄕の筈

公人私人

▲岡本中佐、松本主計 は一日龍山出發地理實查の爲咸鏡道方面へ出張す
▲岡野貞（宮內府囑託）三十日平壤へ
▲谷快盛（伊川金融組合理事）卅日歸任
▲森淸右工門（有馬組長）同上釜山へ
▲栗木智堂（曹洞宗務院敎學部主事）入京中のところ三十日釜山へ向ふ
▲宮原忠正（水原農事學校敎授）三十日水原より入京し巴城館に投宿す
▲久治米邦藏（園藝模範場長）三十日[illegible]島より入京山本旅館へ投宿す
▲向坂鐵太郎（水原勸業模範場技師）三十日釜山より入京浦尾旅館へ投宿

▲京城手形交換高▼

十月一日 金高 一五九、九四八、四一 枚數 五二一

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 三十日の分如左 乘車客 七二三 下車客 八四四 乘車賃金 一三六六、四五
▲南大門荷物發送高 三十日の分如左 發送 三一四噸 到着 一四七噸 發送賃金 一〇一〇、五五
▲龍山驛の乘降客 三十日の分如左 乘車客 二一七 下車客 二一七 乘車賃金 二〇三、四七
▲龍山驛荷物發送高 三十日の分如左 發送 二六噸 到着 三七噸 發送賃金 八三、三八

▲治外法權▼

總督始め官民擧つて忙がしい中に記者は所勞靜養の爲失敬して馬山浦に出逃した、馬山は良い處面白い處だ、僅か一週間の休養で記者の身心は新たになつた、今日から亦々本欄に執筆する▲馬山から歸つて見ると總督府新官制と同地方官制とが出て居る、一見之では半島の施政機關が餘り尨大に失せずやと思はれもするが、ヨクヨク考へれば何にせ八萬方哩と千二百萬餘の人民とを統治するのだからソウ單小にすることが出來ないかも知れぬ▲尤も兩三年の中には人智も開け交通機關も具備するから其時には中央地方の兩官制を今日よりは單純にして良かろうと思ふ、否せねばならぬと思ふ、施設機關の尨大複雜は政費を多くし政務を澁滯させる、當局の士はドウ思ふか▲從來の役人に幾分の罷免があるソウだが、之は此際仕方がないと思ふ、但し罷免者とて惡い人許りでは無いのだから其筋からは最後の優遇を彼等に與へらるゝことと思ふ▲寺內總督各道財務部長に訓示して曰く事務を見るには理論を後にし、實際を先にせよと、靑い先生達は總督の訓旨を良く玩味すべしだ▲今の官吏が何でも力でも理論を以て律し、實際に箝まらぬ事をするのは明かなる通弊だ、而して此通弊たるや獨逸學から來たのだ、頭九、手一、之れが今の官吏の組成劑合だ、獨逸學の弊も茲に到つて極に達せるものだ▲小松參與官曰く世界の進運に隨伴せんとせば自國民の欠點を明白に感了して奮勵の氣を起させねばならぬと、記者も此言には同感でかねて我同胞に其欠點を悟らしめんことに努めて居る▲亦々同業者が一ヶ減つた、殘存者たる本紙の責任は今日から益々大を加へる。

●京城の虎列拉豫防

[illegible]月口調查を勵行し更に料理店旅館飲食店及飲食店に嚴飭し一般の淸潔を保たしめ七班の檢疫班消毒班を設け病院の準備も既に夫れ〳〵整頓せしめたりと

●釜山驛落成式決定

釜山大停車場の落成紀念式は來十一月五日に擧行すべく決定したるが當日[illegible]目下後藤遞相の臨席を申請中なりと

●京義線工事の近況

京義線改良工事の近況を聞くに同線中重なる工事たる平壤以南土城浮浦間に[illegible]以北東林良策間に於けるものは之亦既に其六分五厘を竣工したりと

●仁川居留民會開催

仁川居留民會は既記の通り三十日午後[illegible]

●增員警務官候補者

別項の如く總監部警務官の定員一名增加せしが其候補者は現保安課長警視角仲藏氏にして近く其實の任命あるべし

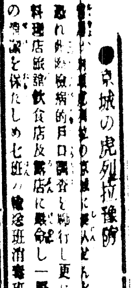
●京城の虎列拉豫防 [illegible]恐れ此際檢病的戶口調査を勵行し更に料理店旅館飲食店及露店に嚴命し一層の清潔を保たしめ七班の檢疫班消毒班を設け病院の準備をなせしめたりと

●釜山驛落成式決定 驛舍の竣成に付き在[illegible]今度に及べる新築釜山大停車場の落成紀念式は愈十一月五日に擧行すべく決定したるが當日は[illegible]目下後藤遞相の臨席を申請中なりと

●京義線工事の近況 京義線改良工事の近況を聞くに同線中最も重なる工事たる平壤以南土城汗浦間に於ける[illegible]以北東林良策間に於けるものは之亦既に其六分五厘を竣工したりと

●仁川居留民會開催 仁川居留民會は既記の通り三十日午後[illegible]

●增員警務官候補者 別項の如く總監部警務官の定員一名增加せしが其候補者は現保安課長警視攻角仲雅氏にして近く事實の任命あるべしと云ふ



仕立屋の奸手段

▽元清月樓實の實母が事

盛んに女郎揚りの横領と題し元新町遊廓清月樓の實が本年五月中旬廢業せし以來大和町一丁目に和服仕立の看板を掲げ依頼されし裁縫物を横領して西部署に檢擧せられ檢事局に送られし旨報道せしが右は實にあらずして同人の實母なるが實は裏面に立て運動せしものにて實の實名はけん（二十）實母はいく（四十）なりし事を訂正す

▽犯罪事件は其後兩角檢事の手にて取調中の所益々犯跡せられ本月七日が公判期日なるが彼が業行及犯罪の大要を記せんにいくは本籍地に於て先夫に死秩れる後は同地に名高き三百代言人谷川讓[illegible]

[illegible]を以て呼びしにぞ一部の者は後難を恐れ內入金等を受取りたるもありと傳ふるものあるも警察にては全然仲裁等話[illegible]したる事實なき由なれば岩本氏が斯る事に指を染めたりとは信ずべからず或は爲にせん者の奸策なるべし

鹿の子の振袖

▽牧野さんは澤山借金

去る二十七日の本紙に『鹿の子の振袖』と題したる記事に付き無名子なる人より左の如く訂正方申込みありたり要するに無名子とは鹿の子自身の事なるべきは優しき筆の蹟にも知るに難からず果して此れを鹿の子の手に成りしものとすれば當人の仰せの如くにして間違ひはなきものと見るが至當なるべし呵々

まわらぬ筆にて御願ひ申上候時分がらとは申しながら朝ばんはひどしは冷かく相成候處記者樣方には益々御機嫌うるわしく御つとめ遊ばされ候段目出度存じ上候扨ぞや本月二十七日の御社新聞に清月の**鹿の子**さんが**和竹**さんをふりすて**牧野**さんとかに思召出しあいなり候へどもそれはまちがいにてたれかの思ひちがいなく候**牧野**さんとやらは清月に**澤山の借金**がござりますれば仲居さんだちのかげ口をみても直に姿をかくされ候ちの上御卒御訂正下さるよう[illegible]はかりながら亂筆にて候 かしこ

和竹さんの方は此れで納まるとして納まらぬは牧野さんの方なりかし

在滿鮮人の爆死

去る二十五日夜七時半頃遼陽城內南街旅人宿に投宿せる朝鮮人紙商金利鎭は支那人の野獸狩の爲め鹽酸加里一磅精製[illegible]袋を以て爆發物を製するが同日何思ひけん[illegible]ルの上に置き二人にて折恰も炊事の爲め床下にかばヲンドルは次第に大なる響を發する利那は腹部と頭部に重く絶命し京林も亦數北を枕して斃れ傍に吟せる金祐秀（十九）金寛鉉（二十）も[illegible]處を恰も[illegible]が通り掛りて大に驚き警察署へ訴へ出でしに西川官設醫院醫部補と[illegible]長は時を移さず現場に出張し檢視を遂げ負傷者二名に應急手當をなし京林は直に同院に入院せしめたる由時節柄此の爆破の音響を聞きたる邦人一同は安眠の亞流なりと疑ひ極力探査なしたる向もあり皆に近來の大騷ぎなりしが官設醫院に入院中の金京林は生命覺束なかるべく他は一二週間にて全癒すべしと因みに金利鎭の死体は城內の朝鮮人一同にて應分の寄附をなし火葬に附することに決したりと云ふ

●不正桝使用者檢擧 西部穀商李昌植（四十）同銅坊石橋洞百六十九統十二戶穀商李興植（三七）は營業上に使用する一升五合の桝を故意に鐵線を破損し且つ桝の底に鐵を多量に附着せしめ昨年十一月以來不正の利益を得居たる事其筋に告發せられ檢事局に送らる

●食逃げ五十二錢 原籍東京市小石川區關口臺町十九番地當時住所不定西山茂（三十）は去る九月三十日午前一時頃龍山櫻町百五十番戶飲食店藥興寺なみ方へ馴れ〳〵しく入り來り腰掛の儘にて酒一本を呑み五十二錢に相當する飲食をなし熟醉の餘り横臥したるをなみは心にも掛けず醉が醒めてから歸さんと自分は門口にて近所の人と話し居りし其隙を見て裏口より飛出したり其後なみは桃山町へ用向の爲め行きし所件の男徘徊し居るより引捉へヤワサモッサと云ひ居る所へ巡回中の山本巡査通り合せ茂を引致せんとしたるに暴言を吐き同行を肯んぜざるより止むなく高手小手に縛り上げ引致取調中

●八十錢帽子訴訟 仁川畓洞七統九戶居住金玄基（二〇）は知人なる平洞十統八戶李學三（四〇）の兄が四五日前死去したるに付き會葬に行きしが言葉の行違ひより喧嘩をなし李の爲めに帽子を破られしに金は知人より借りたる帽子とて大に立腹し李が三十日に給金を受取り辨償する事となりて其場は一先納りしが三十日に至りても李が約束を履行せざるにより訴へ出でたるに付き懇々說諭を加へ八十錢を支拂ふ事にして事濟み

●中檢藝妓の腕比 不景氣とか云ふ風が吹き捲くるので花の顏どやらの色褪せかてなる中檢藝妓連の九月中の帳面へ掲つたれ稼ぎ高順に從ひ十五番迄のれ名乘を陳列仕れば左の如し

今奴、れ多福（揃）ふく（花）花蝶（揃）蝶々（井）やん茶（揃）小高、勝利、れ富（花）秀子、れ染（揃）福奴（花）梅助（揃）辰子（花）

因に翔翠樓の花蝶𠮷は先月限り廢業致しまして御座いますと口から耳へチリン

●二人剽盜の處刑 江原道金城郡府面之不洞兄聖道（三三）龍山坊東幕下契洞金永玉方林致聖（三九）は共謀して九月十六日午後七時頃龍山朝鮮駐劄軍司令部官舍附近に於て通行人冠岳山觀音寺僧千聖宗の兩手を緊縛し金一圓二十錢外三點を奪取し憲兵隊に逮捕され京城地方裁判所に於て元聖道は懲役五年林致聖は懲役三年に處せらる

●金庫と消火器 本町一丁目熊平支店の販賣に關る竹內製金庫は堅牢無比にして且廉價なる事世已に定評あり今回內部より一時に十數個の注文ありし程の盛況なると尚同店にては消火器と共に內地定價より一層廉價に販賣すと云へば財產の安全を計る者の福音なりと云ふべし

值下社告

本京城新報儀去る四十年十一月創設以來數度か厄難に罹り候も幸いにして無事茲に滿三ヶ年を經過し以て今日に至り候ことは偏に江湖愛讀者諸君御同情の結果と深謝の至りに不堪候而るに近來先輩の同業者にして廢刊する者續出致候に就いては此際本紙の責任を全ふせんが爲め弘く擴張の意味を以て本紙の值下げを斷行し從來一箇月分三十五錢なりしを左の通りに改訂仕候

京城新報 一ヶ月分 金三十錢

但し支局賣捌所等より配達の分も同樣の事

右の通り勉强仕候に付ては此際遠近に拘はらず續々購讀方御申込相成度候

十月一日

京城新報營業部

世界一の馬術家

……二十頭の名馬を率ひ明三日より明治町にて興行す……

三十日仁川に入港せる九州丸にて大連より來りし露國馬術家パローフスキー氏は世界に有名なる馬術家にして前身は軍人なりしが天性馬術に長じ各國陸軍社會は爭ふて氏を聘用せんとせしも一再ならざりしに氏は考ふる處ありて之に應せず官を辭し專ら其好む處の馬術を研究し歐米各國の都市に於て妙技を演じ到る處に喝采を博し遂に世界一の稱を得たるなりとぞ先年乃木將軍が旅順開城の際ステッセル將軍より讓り受けたる名馬はパ氏の多年調教せしものゝ由右、縁故に依り東京有志の招ぎを受け渡日の途中朝鮮日日新聞社の爲め大連に於て興行しつゝある間に當地或る人の勸めに依り當京城に乘り込み明三日より東洋拓殖會社敷地に於て興行することとなり東京大相撲以來目醒しき興行の無かりし折柄なれば定めて大人氣なるべし因に一行中には体術の名士三名馬尼剌人の犬使及び自轉車の曲乘其他餘興の藝人多數美人も加はり居る由

●始政紀念繪端書 明治町の日韓印刷株式會社にて發行したる同紀念繪端書は三枚一組にして一枚は李王殿下の肖像に國旗を交叉し前韓國旗は下部に半ば捲かれたる一枚は素戔嗚尊の尊像に菊花を配合たる一枚は日本帝國領土地圖を白抜きしたる上に併合に關する陛下の詔勅及び勅諭を印刷したるものにてナカ〳〵美事な物也定價十錢

●秩父銘仙賣出し 明治町一丁目關根出張店にては開店一週年の自祝として本場銘仙均一値段にて破格の安價に賣出しつゝありと云ふ

●鳩綵筆と長白筆 香、筆、墨類の老舖京都市熊谷鳩居堂にては今回韓國併合を紀念する爲め標題の如き水筆を製造發賣することゝなせりと云ふ

日曜集會（一日）

●日本基督敎會（旭町四丁目）午前九時より日曜學校同十時より禮拜說敎 大谷牧師 エホバは我牧者也 右終りて午後八時よりは傳道說敎 同上 光明と暗黑

●メソヂスト敎會（旭町二丁目）午前九時より日曜學校及び聖書研究等あり午前十時半よりは禮拜說敎 木原牧師 記憶すべき三箇條 右終りて午後七時半よりは傳道說敎 同上 救に入るの捷徑

●同上龍山講義所 新市街電車止井出商店隣りにて午後七時半より傳道說敎 山口照平君 吾等の大福音

●京城基督敎會（日の出町）午前八時より日曜學校同九時より禮拜說敎 米澤牧師 モアブの谿谷に横はれる無名の墓 右終りて午後八時よりは傳道說敎 未定

●臨濟寺の微笑會（初音町）例に依り圓山太嶺禪師の無盡燈論提唱ありと

●曹洞宗別院の入佛式 京城若草町同宗別院は本日を以て入佛式を擧行する由式の順序は午前九時南大門驛に於て之を奉迎し夫れより本町通に出で若草町に入り十一時別院に於て入佛式を行ふと云ふ

●淨土宗開敎院（明治町）左の集會有 午前九時 少年敎會 午後七時半より 普通敎會

目と耳

▲浪花館 如雲一座一日の番組如左 前席『赤垣源藏徳利別れ』後席『不破數右衛門芝居見物』（桃中軒如雲）

▲壽座 博多二〇加一座二日代番組『時は風』『親ぼんのう』『文人手踊』『筑前琵琶義士傳稽の廊下』『病院』

▲歌舞伎座 曾我の家其他合同劇

今日の運勢

十月二日 舊八月廿八日 六白 大安 庚子 平△一白 盛の日大抵進んで吉 外誘提言斥くべし△二黑 旅行及婚談見合せの事 色情病の破れを戒しむ△三碧 挫折し易き日 設計目論見起業開店婚談に忌む 負傷及衛生注意の事△四綠 不和中絶避くべし 金品授受取引貸借故障多し△五黃 旅行婚談連体共同組合の事に忌む 家庭上の累と保證引受の類を避くべし△六白 證券印章の事故障起らんとす 尚盜害遺失防ぐべし△七赤 金品授受證券の事故障起らん 商人より口舌の難にあふあり△八白 家畜從者子孫の事煩累あり 甚他盛運日 大凡吉△九紫 他人の身上に付き痛心あり 盜害遺失防ぐべし 新事見合せの事

十月三日 舊八月廿九日 五黃 赤口 辛丑 定△一白 新事旅行見合せの事 親族の事煩累あり保證受印を禁ず△二黑 機械替方針替改革整理遂行に吉 遺失防ぐべし△三碧 厄運日なり諸事手控への事△四綠 新事旅行見合せの事 貸借取引金談委囑謀議破れ易し△五黃 起業開店相談婚談共同組合連盟の事に忌む 遺失盜失防ぐべし△六白 快欣の日 大凡吉 療病衛生注意すべし△七赤 起業開店婚談入學門披露に好し 屋入及子孫の事を計るに凶△八白 業務上失念又は疎漏あり 其他諸事△九紫 負傷衛生に留意の事 其他會心の日 進んで吉（本町五丁目三館判斷）

●天氣豫報（自一日午後六時至二日午後六時）

北風晴

三十日（華氏）最高溫度 七二、〇 最低溫度 五四、三